

**国際海運 GHG ゼロエミッションプロジェクト会合**  
**一般公開セッション「国際海運における脱炭素化技術追求の方向性」**

**議事次第**

【日 時】令和元年 8 月 2 日(金)9:30～12:00

【場 所】赤坂インターシティコンファレンス 401 会議室  
東京都港区赤坂 1-8-1 赤坂インターシティ AIR 4F

【進行】

開会挨拶	・プロジェクトマネージャー 坂下 広朗 (一般財団法人 日本海事協会 業務執行理事 副会長) ・国土交通省 大臣官房技術審議官(海事局担当) 宮武 宜史
議題(1): GHG 削減対策の 国際動向	「IMO における GHG 削減対策の動向」 国土交通省 海事局 海洋・環境政策課 環境渉外室長 今井 新
	「海外の動向とロードマップ作成事業について」 一般財団法人 日本船舶技術研究協会 基準・規格グループ 基準ユニット長 古賀 定治
議題(2): 産業界における ゼロエミッション実現に向け た具体的な取り組み	「国際水素サプライチェーン構築への取り組み」 川崎重工業株式会社 技術開発本部 水素チェーン開発センター プロジェクト推進部長 新道 憲二郎
	「船上 CCS 搭載に関する取り組み」 三菱造船株式会社 マリンエンジニアリングセンター 開発部 環境技術担当部長 雲石 隆司
	「カーボンリサイクル技術(CCR)に関する取り組み」 日立造船株式会社 機械事業本部 産業装置ビジネスユニット 顧問 熊谷 直和
	「次世代風力推進システム“Wind Challenger”に関する取り組み」 株式会社大島造船所 最先端技術開発・工場知能化推進部長 青木 伊知郎
議題(3): 今後のゼロエミッション実現 に向けた取り組みの方向性	<b>討論</b> ・船舶からのゼロエミッション達成のために追求すべき技術・手法等について ・その普及に向けた課題と対策について
閉会挨拶	・一般財団法人 日本船舶技術研究協会 専務理事 加藤 光一

**【配布資料】**

議題	資料番号	資料名
1	GHG 戦略 19-2-1-1	IMO における GHG 削減対策の動向
	GHG 戦略 19-2-1-2	海外の動向とロードマップ作成事業について
2	GHG 戦略 19-2-2-1	国際水素サプライチェーン構築への取組み
	GHG 戦略 19-2-2-2	船上 CCS 搭載に関する取組み
	GHG 戦略 19-2-2-3	カーボンリサイクル技術（CCR）に関する取組み
	GHG 戦略 19-2-2-4	次世代風力推進システム"Wind Challenger"に関する取組み
	参考資料 1	2019 年度委員名簿
	参考資料 2	ゼロエミッション船に関する海外プロジェクト